

『広域大規模激甚災害の被害予想シミュレーションおよび避難行動と安否確認のICTによる支援の可能性』

神戸医療産業都市の進展により、神戸ポートアイランド地区にはスーパーコンピュータ「京」や大学などが立地しており、産学官の連携や異分野を融合した新たな研究開発・産業の拠点化が期待されています。ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会では、研究交流会等の開催を通じて、情報発信や技術者・研究者が組織や分野の枠にとらわれず相互に情報交換できる場を提供しています。

今回は、学术界からの防災・減災分野におけるシミュレーションや情報通信技術との融合について最新の研究内容を紹介します。

日時：2014年2月27日(木) 13:45～19:00

場所：兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス(計算科学センタービル) 7階 講義室
神戸市中央区港島南町7-1-28 ポートライナー「京コンピュータ前駅」下車 徒歩3分

参加費：講演会 無料 / 交流会 2,000円

プログラム

主催：ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会

共催：兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科社会応用情報科学研究センター

後援：兵庫ニューメディア推進協議会、地域ICT推進協議会（順不同）

開会挨拶 13:45～13:55

ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会会長・
兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科長
西村 治彦

講演1 13:55～14:55

「災害発生時の避難支援と安否確認は現状で大丈夫か？」

兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科
教授 有馬昌宏 氏

- - - - 休憩 14:55～15:10 - - - -

講演2 15:10～16:10

「大都市の防災対策は大丈夫か？」

名古屋大学減災連携研究センター
准教授 廣井 悠 氏

講演3 16:10～17:10

「災害発生時の公共交通機関は大丈夫か？」

中央大学理工学部 教授 田口 東 氏

閉会挨拶 17:10～17:15

交流会 17:30～19:00

場所：1階カフェテリア Focus

参加費：2,000円

兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科
教授 有馬昌宏 氏

災害対策基本法が改正されて基礎自治体による避難行動要支援者名簿の整備が義務化されたが、自主防災組織による災害時の住民避難支援や安否確認にICTがどのように使われうるのかについて、特に地方に焦点をあてて現状と課題を紹介しします。

名古屋大学減災連携研究センター
准教授 廣井 悠 氏

家屋倒壊、市街地火災、帰宅困難を含む避難行動など、「集積に伴うによるリスク」の顕在化が大きな問題となる大都市域を対象に、災害が発生した場合の現状予測と課題の解決について、シミュレーションやアンケート調査などの結果に基づいて紹介しします。

中央大学理工学部 教授 田口 東 氏

首都圏の鉄道ネットワークに時間の概念を加えた時空間ネットワーク上で個々の電車の運行状況を表現できるモデルなどについて解説し、鉄道利用者の被害状況の想定に関して、大規模時空間シミュレーションモデルによる推定結果などを紹介しします。

お申込み・お問い合わせ

兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス経営部

住所：神戸市中央区港島南町7-1-28

電話：078-303-1901 ファックス：078-303-2700 e-mail：koukaikouza@ai.u-hyogo.ac.jp

裏面に必要事項をご記入の上、ファックスまたはe-mailにて2月24日(月)までにお申し込み下さい。

ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会 研究交流会 参加申込書

参加申込

2月24日(月)までにお申込み下さい。

御社名

部署名 / 役職名

お名前

ご住所

お電話番号

E mail

交流会の参加 有 無 * 参加費: 当日 2,000 円頂戴します。

送付先

兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス経営部

FAX 078 - 303 - 2700

E mail koukaikouza@ai.u-hyogo.ac.jp

* E mailの場合も ~ の内容を記載してください。

お問い合わせ

兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス経営部

住所 : 神戸市中央区港島南町 7-1-28

TEL : 078-303-1901



* 本申込書にてご提供いただきました個人情報は、本研究交流会参加申込受付のほか、ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会事業運営の目的以外では利用しません。